

素顔拝見

研究推進機構 超域学術院(口腔生化学分野所属)
特任助教

岸川 咲 吏

みなさま、初めまして。

私は、2017年2月から新潟大学口腔生化学分野の特任助教として赴任いたしました。

出身は福岡県ですが、大学院からは福岡→東京→新潟(現在)と北上しつつあります。

私は九州大学歯学部卒業後、研修医を経た後どの道に進もうかと悩みましたが、歯科医師として拔牙はできたほうがいいよね!という気持ちと、昔から免疫学・細菌学に興味があったため研究をしてみたいという思いがあり、そのどちらも叶えたいという邪な考えから九州大学大学院歯学研究院口腔顎顔面病態学講座顎顔面腫瘍制御学分野(顎口腔外科:中村誠司教授)に進学いたしました。口腔外科の朝は早く、夜は遅くというとてもハードかつ人生を濃縮したような日々でした。同期は私を含め6人(内5人は女性!)もいて、拔牙を含めた術技も診療後に先生たちに教えてもらったり、同期たちと練習したりと必要な技術や知識を得るためにみんなで切磋琢磨し、楽しく過ごすことができました。今では毎週木曜日の夜中2時過ぎに九大近くの花山(知る人ぞ知る某屋台)に先生に連れられて飲んだ事はいい思い出です…。

一年間がっつり臨床したあとは、かねてより興味があった免疫学、なかでも特に粘膜免疫(口腔外科では粘膜疾患は多いので)に興味を持っていた私は、当時に一度九大に講義にいらしていた東京大学医科学研究所の清野宏教授(現:UCSD)のもとに出向いたしました。清野先生の下で、腸上皮の一部であり抗原の取り込みと抗原認識を行うM細胞について研究を始めました。研究室に赴いてびっくりしたことは、研究室には医学部出身の方だけではなく、歯学部(清野先生

も)、農学部、工学部、また薬品会社からの出向の方など色々な分野出身のひとがいて、グローバルかつ多彩な意見の交換が行われていたことです。歯学部・歯学研究院の中にただけではきっと体験できなかったような経験をいたしました。

大学院を卒業後、粘膜免疫の研究を進めるうちに、免疫は様々な組織と関与していることがわかってきましたが、なかでも神経と免疫のクロストークに興味をもちました。神経を学びたいという考えから、現在、照沼美穂教授のもとで脳細胞の一種であるアストロサイトについて研究を行っております。アストロサイトは痛みの認識や神経毒性の除去など多彩な能力を備えていることが明らかになってきていますが、いまだ不明な部分も多い魅力的な細胞です。

10年ぶりに訪れた新潟の土地ですが、赴任翌年(今年)の大雪には連日驚かされ、童心のようにはしゃぎました。ここ新潟での研究と、酒と、季節の移ろいを楽しみつつ過ごすことができたいなと思っております。

みなさま、今後ともよろしく願いいたします。

✽



歯科矯正学分野
助教

大竹 正 紀

初めまして。平成29年10月1日より助教を拝命いたしました、矯正学分野の大竹正紀(おおたけまさのり)です。「素顔拝見」の原稿依頼をいただきましたので、この場をお借りして自己紹介をさせていただきます。出身は新潟県長岡市です。厳密に言うと長野の

赤十字病院生まれの新潟・長岡育ちです。長岡といえばやはり長岡花火です。皆さんも見に行かれた方が多いと思いますが、私は幼い頃から欠かさず見えています。見たことがない人は是非見に行ってください。ちなみに、フェニックスは間近で見るといいのですが、視野に入りきりません。少し離れたところから見るのもなかなかいいです。迫力は劣りますが、全体が視野に入りますし、車で見に行っても混む前に帰れるのがメリットです。

高校卒業後は昭和大学歯学部に入りました。大学の1年目は富士吉田キャンパスに医・歯・薬学部の1年生が全員集まって寮生活をしていました。医療系の他学部の友人ができ、予想外に楽しめました。ただ、綺麗な富士山と富士急ハイランド以外何も無い大自然のなかなのでだいぶヒマでした。部活は高校の時からやっていた硬式テニス部に入部しました。今では問題になりそうなくらい体育会系な部活で、当時は地獄でした。テニス部の方ならご理解いただけると思いますが、夏は日焼け止めを塗っても手足がポッキー。黒い服を着れば闇に紛れ、白いハーフパンツを履けばパンツが浮かんでいる、などなど。最近運動不足なのでテニスができたらなあと思っています。昔の感覚で動いたら怪我するんだろうな、と思いつつもやっけてしまっそうです。

昭和大学を卒業し母校の保存科の方で研修したのち、審美と機能を兼ね備えたな咬み合わせを創ることに憧れ、地元である新潟大学の矯正学分野に大学院生として入局させていただき、現在に至ります。入局して今年度で9年目になりますがまだまだ学ばなければならないことがあり日々悶絶しています。

新潟出身なので基本コメ。日本酒も大好きですが、ちょっと二日酔いになりがちなので注意しています。最近のマイブームは新潟県以外の日本酒を探ることです。石川や富山のお酒にはまっています。私生活に支障をきたさないように楽しめればと思っています。

さて、ここまで私の拙い文章を読んでいただきありがとうございます。これからも歯科矯正学分野の助教として、日々努力していく所存です。まだまだ未熟者ではございますが皆様、ご指導、ご

鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。



う蝕学分野
助教

枝 並 直 樹

こんにちは。2017年12月より、う蝕学分野の助教を拝命いたしました枝並直樹と申します。この度、「素顔拝見」を書かせていただく機会を頂きましたので、この場をお借りして自己紹介をさせていただきます。

私は新潟市江南区(旧亀田町)に生まれました。江南区は今でこそ、大型ショッピングセンターが立ち、店舗や住宅も増えましたが、以前は田んぼに囲まれ、夏には一晩中カエルが鳴きやまないような地域でした。私も小さい時にはザリガニ、オタマジャクシをよく捕まえて遊びましたし、ヘビが出た記憶もあります。そんな、のびのびとした環境で小・中学校、高校、大学と生活したせいか、身長が185cmになりました。よくバスケ部orバレエ部と聞かれますが、残念ながら俊敏な動きはできず、身長を生かしたスポーツはやっていませんでした。

小さい時にチェロを習わされた習わせてもらったことから、大学時代はオーケストラ部(新潟大学管弦楽団)に所属しておりました。この部活は、歯学部の部員が少ないこともあって、あまり皆様の印象にないかもしれませんが、創部九十年以上で、部員も百数十人いる大きな部活です。また、毎年、入学式の演奏を行っている部活ですので実は聞いたことがあるという方が多いのではないかと思います。

ここ数年は歯学部や日本歯科大学の学生がコンサートマスター(リーダー的存在)を担うなど、歯科の存在感が大きくなっている?ようです。演奏会を聴きに行ったことがない方は若さ溢れる演奏が聴けますので、ぜひ一度足を運んでみてくだ

さい。

そのほかの趣味としては、最近、野菜のプランター栽培を始めました。NHKの“植物男子ベランダー”という番組に影響されたのですが、不規則になりがちな生活の癒し+栄養源の確保として重宝しています。新潟市出身の園芸王子こと三上真史さんが出演の“趣味の園芸”も毎週欠かさず見えています。去年はゴーヤが豊作になりましたので、今年はトマトに挑戦しています。どなたか栽培に詳しい方がおりましたら、ぜひ教えてください。

趣味の話ばかりでは、仕事をしていないように思われるかもしれないので、研究の紹介もさせてください。私は現在、ラットの臼歯で歯髄再生療法的一种であるパルプリバスクラリゼーションを起こし、反応を観察できないか試みています。う蝕学分野教授の野村先生のグループは、大阪大学

時代にラットの歯に根管治療を行うという離れ業を編み出していましたので、その秘技を伝授していただきまして実験を行っています。この研究では、ラットの臼歯にラバーダムをして、顕微鏡視野下で根管拡大・洗浄・貼薬等を行うのですが、何せ近遠心径が4mm、根管長も4mm程度しかありませんので、難易度が高く苦勞をしています。残念ながら、ラット根管治療専門医と呼ばれるほど上達するまでにはもう少し時間がかかりそうですが、皆様の目にとまるような結果を早く出せるように頑張りたいと思います。

以上、最後まで拙い文章にお付き合いいただき、ありがとうございました。まだまだ経験不足の自分ではありますが、若さを力として、う蝕学分野と歯学部に貢献できるよう日々研鑽してまいります。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

